

臨床検査管理学Ⅱ

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》○丸川活司 高橋祐司 山崎智弘 田中浩樹（特別講師） 徳保裕美（特別講師） 恩田和人（特別講師）
八木亜希子（特別講師） 佐々木由紀（特別講師） 石田真人（特別講師）

【概 要】

検査結果あるいは分析結果の精度を保証するためには、その工程すべてを範囲とした品質保証体制の確立が必要となる。本講義では、検体検査、生体検査における精度管理、品質保証、認証制度について学び、臨床検査の品質保証を理解するとともに、急速な検査技術の進歩や医療環境の変化にも即応できる臨床検査技師としての知識を習得する。臨床検査技師を目指すにあたり、臨床検査技師の国家資格をもち様々な分野で活躍する特別講師から、そのそれぞれの分野における精度管理、品質保証についても知識を習得する。早期に臨床の現場へ赴き、その実態に触れることの意義は大きい。本講義では、臨床検査関連施設の見学をおこない、予防医学や健康診断の重要性と臨床検査との関連性を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 検体検査、生体検査における精度管理、品質保証、認証制度について理解する。
- 2) 各種医療現場における役割と精度管理、品質保証について理解する。
- 3) 臨床検査技師として様々な分野で活躍することが可能であることを知る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	・臨床検査管理学Ⅱ概要と進め方	丸川活司
2	検体検査における品質保証①	・臨床化学検査領域の品質保証 ・免疫化学検査領域の品質保証 ・血液検査領域の品質保証 ・一般検査領域の品質保証 キーワード：品質管理、精度保証	丸川活司 田中浩樹（特別講師）
3	検体検査における品質保証②	・遺伝子検査領域の品質保証 ・輸血検査領域の品質保証 ・微生物検査領域の品質保証 ・病理検査領域の品質保証 キーワード：品質管理、精度保証	丸川活司 田中浩樹（特別講師）
4	生体検査における品質保証	・生理検査領域の患者対応の品質保証 ・生理検査領域の品質保証 キーワード：品質管理、精度保証	丸川活司 田中浩樹（特別講師）
5	予防医学や健康診断	予防医学や健康診断の重要性と臨床検査との関連性を学ぶ 衛生検査所における業務内容を理解する ・衛生検査所における臨床検査の信頼性確保 ・衛生検査所における情報管理について キーワード：予防医学、衛生検査所、情報管理	丸川活司 田中浩樹（特別講師）
6	企業における臨床検査技師の役割と業務	臨床検査関連企業における業務内容を知る ・臨床検査の信頼性確保 ・営業における情報管理 キーワード：臨床検査関連企業、情報管理	丸川活司 恩田和人（特別講師）
7	検診センターの役割と業務	検診センターにおける業務内容を理解する ・検診センターにおける臨床検査の信頼性確保 ・検診センターにおける情報管理について キーワード：検診センター、情報管理	丸川活司 徳保裕美（特別講師）
8	生殖補助医療胚培養士における精度	・生殖補助医療胚培養士の仕事内容と検査技術	丸川活司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	管理	・臨床検査学科からの胚培養士への道 キーワード：生殖医療、体外受精、胚移植	八木亜希子（特別講師）
9	Clinical Research Coordinatorとして活躍する臨床検査技師	Clinical Research Coordinatorの業務内容と精度保証について キーワード：治験コーディネーター、臨床研究、インフォームドコンセント	丸川活司 佐々木由紀（特別講師）
10	科学捜査研究所の業務における精度管理	・科学捜査研究所（法医科）の仕事内容と検査技術 ・科学捜査研究所への道 ・警察職員としての勤務実態 ・科学捜査研究所（化学科）の仕事内容と検査技術 ・臨床検査学科から科学捜査研究所への道 キーワード：DNA型鑑定、体液検査、人獣鑑別、顔貌鑑定、薬毒物検査、質量分析	丸川活司 石田真人（特別講師）
11	施設見学に関するガイダンス	・札幌医科大学標本館の見学の目的と概要について ・北海道血液センターの見学の目的と概要について	丸川活司
12) 13	札幌医科大学標本館 見学	医療の歴史、人体のしくみと生命について知見を深める （体験学修） キーワード：医学の歴史、医学教育標本館	丸川活司 高橋祐司 山崎智弘
14) 15	北海道血液センター 見学	衛生検査所の役割と業務 血液センターの歴史を学び、献血、血液検査、輸血用血液製剤の調製さらに医療機関への供給などを理解する （体験学修） キーワード：献血、血液検査、輸血用血液製剤	丸川活司 高橋祐司 山崎智弘

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

その都度プリントを配布

施設見学 実習要領

【参考書】

（一社）日本臨床衛生検査技師会 編集「臨床検査精度保証教本」（一社）日本臨床衛生検査技師会 2019年
日本臨床衛生検査技師会 監修「品質保証・精度保証」じほう 2020年

【備考】

資料を配布する。

【学修の準備】

授業に関するキーワードについて調べ、予習しておくこと（80分）

講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（80分）

施設見学前に実習要領に関して予習し、確認しておくこと（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

【実務経験】

丸川活司（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、田中浩樹（臨床検査技師）、恩田和人（臨床検査技師）、八木亜希子（臨床検査技師）、佐々木由紀（看護師）、石田真人（警察官）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、高度に専門化し複雑化した医療の分野にあたり、専門職業人としての理念と方法、その具体的な実践に関して講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している